



小 / 算数 / 4年 / 数量関係 /  
折れ線グラフ / 理解シート

お せん  
折れ線グラフは、どんなときに使われるの



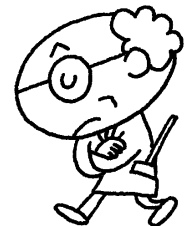
下のようなときに、折れ線グラフが使われるんだよ。

**ポイント**▶ 折れ線グラフは、<sup>か</sup>変わり方<sup>かた</sup>のようすを表したグラフです。  
ですから、<sup>かなら</sup>必ず、(時間・<sup>りょう</sup>量)の組になっています。

## ●折れ線グラフがよく使われる場合

- ・毎年4月に調べた身長。(時間→毎年4月, 量→身長)
- ・毎年4月に調べた市の人口や県の人口。(時間→毎年4月  
量→市や県の人口)
- ・毎月10日に調べた体重。(時間→毎月10日, 量→体重)
- ・1日の体温の変化。(時間→1日, 量→体温)

時間の変化にも  
なって変わる  
量の変化のよう  
すを表すのに使  
うんだよ。



## ●ぼうグラフがよく使われる場合

- ・いろいろな場所の5月にふった<sup>うりょう</sup>雨量。
- ・交通じこの<sup>げんいんべつ</sup>原因別<sup>けんすう</sup>の件数。
- ・4月に調べた学年ごとの人数。
- ・友だち5人の体重調べ。

量の多少をくら  
べるときに使う  
んだよ。

